

6月号

京橋朝海幼稚園 園だより

令和7年5月30日

絵本の世界に入ってみよう

主任 中道 佳織

園庭では、虫を探して観察したり、木の実を見つけて「中身はどうなっているのかな？」と割ってみたりと、子どもたちは、気になることや興味があることに積極的に関わって遊んでいます。

幼稚園では毎日、絵本の読み聞かせをしています。読み聞かせは、学級全体でお話の世界を共有できる大切な教育活動と捉えており、教師は意図的に絵本を選んでいきます。ある日、年中組でテントウムシの絵本を読み聞かせをしました。翌日、保育室にテントウムシの絵本コーナーを作っておくと、子どもたちは興味をもち、画用紙を使って“自分の”テントウムシを作り、友達のテントウムシと「こんにちは」「どこいくの？」と簡単なやりとりを楽しんでいました。

さらにテントウムシの表現を楽しめるように、スクリーンに読み聞かせをした絵本を大きく映し出しておくと、作ったテントウムシを動かして「おなかすいちゃった」「お花の蜜吸っているよ」とテントウムシになりきって遊んでいました。その姿を見ていた他の子は、カブトムシやクワガタのお面を被って「ぼくはカブ！」と言いながらスクリーンに映っている木にとまったり、その近くを飛んでみたりする等、自分自身が虫になりきって表現することを楽しんでいました。また別の子は、製作コーナーで空き箱を使い、作ったテントウムシのお家をつくるなど、様々な遊びへと広がり、深まっていきました。まさに、遊びの中での探究活動です。

テントウムシの絵本をきっかけにして、友達や先生と言葉でやりとりをしながら物語の世界を楽しむ、体を使って虫の動きを表現して遊ぶ、お話の世界をイメージしながら必要な物を作るなど、たくさんのことを経験しています。幼稚園では、これらの遊びを通して、いわゆる非認知能力である、意欲や意志、最後までやりぬく力、人と協力する力などにつながる活動を日々の保育で実践しています。今後も、子どもたちの好奇心や探究心（わくわく、ドキドキ）を湧き立たせられる活動を進めてまいります。



今月の学年目標

- ・自分のしたい遊びを見つけて遊んだり、教師や友達と一緒に過ごしたりすることを楽しむ。
- ・園生活の仕方が分かり、身の回りのことを自分でしようとする。

- ・自分の思いを表しながら、友達と一緒に遊ぼうとする。
- ・教師や友達と触れ合いながら学級のみんなで遊ぶことを楽しむ。

- ・自分なりの目的に向かって、試したり工夫したりしながら取り組むことを楽しむ。
- ・友達と互いに考えやイメージを出し合いながら、遊びを進めていく楽しさを味わう。

